

DLC-HN80

ハンディランプチェンジャー

取扱説明書

このたびは、「ハンディランプチェンジャー / DLC-HN80」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
 ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上の注意

⚠ 危険	<ul style="list-style-type: none"> ●必ずランプへの電源を切ってから作業してください。感電の恐れがあります。 ●高圧電線が近くにある場所での使用はしないでください。感電や事故の原因になります。
⚠ 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプ（ガラス）の割れているものやキズついているもの（クラックなど）には使用しないでください。ランプが破損し怪我をする恐れがあります。 ●ランプ交換はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。不意の落下物で怪我をする恐れがあります。 ●ランプの交換は電源を切り、ランプが冷えてから行ってください。やけどの恐れがあります。 ●適合ランプ以外に使用しないでください。ランプが落下する原因となります。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●使用前に部品のゆみや破損等を点検し、異常があった場合は使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。 ●ランプの取付けは、ソケットにまっすぐに確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、振動などでランプが落下したり、電気的な接触不良を起こすなど事故の原因となります。 ●ランプを取付ける器具の説明書に従い、正しくランプを取付けてください。誤った取付をすると、ランプが落下したり、器具が破損する恐れがあります。 ●シンナーなどの溶剤を付着させないでください。破損の原因になります。 ●シンナーなどの溶剤舞塵空气中に保存しないでください。破損の原因になります。 ●本来の目的以外に使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
⚠ 使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●「キャッチヘッド」にランプを取り付けたまま放置しないでください。「キャッチヘッド」の弾性が失われ、使えなくなる恐れがあります。 ●ランプ交換できない構造の器具もあります。右上の「使用制限」を参照してください。また無理に操作すると、反射板やランプの変形、破損の原因になります。 ●気温が-10℃以下の環境で使用しないでください。 ●保管の際は、直射日光のあたる場所や高温の場所を避けてください。「キャッチヘッド」の寿命が短くなる原因となります。

特長

- 踏み台や脚立を使わず、約2.5mまでの高さの電球交換ができる。
- アルミボールで超軽量
- LED電球、白熱電球、電球形蛍光灯など、一般的によく使われているランプ形状に対応

適合ランプ

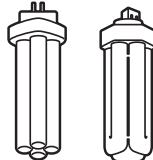
- サイズ：φ40～60mm（※）
- 最大広がり幅：φ55～80mm
- 種類：
 - ・LED電球、シリカ電球、白熱電球
 - ・電球形蛍光灯
 - ・スパイラル型蛍光灯
 - ・コンパクト蛍光灯（FDL型・FHT型）

 白熱電球
 電球形蛍光灯


φ55～60

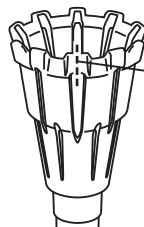
 スパイラル型
 蛍光灯


φ40～60

 コンパクト蛍光灯
 （ツインタイプ蛍光灯）

 （4本組状）
 フリッジ
 FDL型

 （6本組状）
 フリッジ
 FHT型

※ランプがキャッチヘッドに収まりにくい場合は、キャッチヘッドの先端を、1箇所切断してください。ランプが収まりやすくなります。

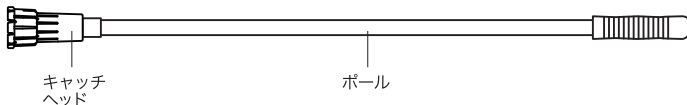


切る（1箇所のみ）

※ランプの形状や状態（汚れ等）により、使用できない場合があります。

仕様

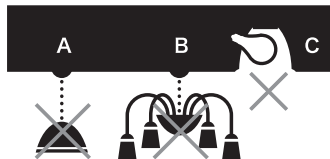
- ポール: アルミ、ABS樹脂
- キャッチヘッド: EVA
- 全長: 約83cm



使用制限

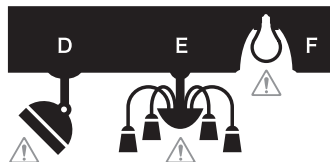
使用できない器具の代表例

- チェーン・コード吊りペンダント (右図-A) (しっかり固定されていないもの)
- チェーン・コード吊りシャンデリア (右図-B) (しっかり固定されていないもの)
- ダウンライト (右図-C) (ランプが斜めに取り付けられたもの)



使用するときには注意が必要な器具の代表例

- スポットライト (右図-D) (点灯方向を重要視される場合とアームの強度に心配があるもの)
- 直付シャンデリア (右図-E) (セード及びアームの強度に心配があるもの)
- ダウンライト (右図-F) (反射鏡とランプが近接しており、キャッチヘッド挿入時に反射鏡を押し上げる危険性があるもの)



ランプにキャッチヘッドを装着する時は、キャッチヘッドのランプ脱着時最大広がり巾にご注意ください。
(広がり巾には余裕を約5~10mmもたせています)

使用方法



- 固く締め込まれたランプや、サビ等で口金に固着してしまったランプは、取り外せない場合があります。
- 天井及び壁面に固定された照明器具のランプ以外は、保持できません。
吊り下げ式の照明器具等は動かないように固定しなければならないため、交換できない場合があります。

1 ランプをつかむ

照明器具とランプとキャッチヘッドが同一軸上になるように、ポールを上にあげます。キャッチヘッドの先端をランプに静かに当て、ランプが完全に収まるまで押し込みます。

2 ランプを外す

少し押し加減のままランプを外す方向(左回転が一般的)へポールを回転させると、ランプはソケットから外れます。
なお、ソケットが回転(共回り)したら直ちに作業を中止してください。(電線間ショートのおそれがあります。)

3 新しいランプの取付け

新しいランプを、キャッチヘッドに十分接触するところまでまっすぐに押しこんでください。(右図参照)

ポールを持ち上げ、ポール・ランプ・ソケットが同一軸上になるようにして、軽く押しながらねじ込んでください。
2~3回転ねじ込むと、締め付けられたことを示す手応えがあります。そこでもう一度、心持ち強く締めれば終了です。

ポールをゆっくり降ると、ランプからキャッチヘッドが外れます。

